

2024年9月4日

高知県人事委員会
委員長 門田 純一 様

高知県教職員組合
執行委員長 岩井 康浩
高知県高等学校教職員組合
執行委員長 岩井 康浩

2024年度人事委員会勧告に関する要望書

貴職におかれましては、日頃より高知県の公務員の地位向上・待遇改善にご尽力頂いていることに敬意を表します。

昨年度、高知県職員においては一時金の全国との格差はわずかに縮まりましたが、ほとんどの都道府県とはまだ0.15月、東京とは0.30月の格差があります。地域手当の抜本的な是正がない中で、月例給と一時金の月数による全国との2重の格差はまだ解消していません。

8月8日人事院は、国家公務員初任給の大幅な引上げ、月例給のすべての号俸・俸給で平均1万1183円の引上げ、一時金は期末手当と勤勉手当で0.1月の引上げを勧告しました。また、高知県では最低賃金中央審議会の目安額全国一律50円を5円上回る引上げの答申が出されており、地域間格差を解消する動きが強まっています。高知県の教職員の働く意欲の向上と教職員のなり手を確保するためにすべての教職員の賃金を大幅に引上げて全国との格差を縮めること、教職員が健康で安心して働くことができる労働条件へと全国に先駆けて高知県独自での改善をすることが強く求められています。

貴委員会は2023年度の報告で、「昨年度の県立学校等における時間外の在校等時間が、上限の45時間を超える教育職員の割合は依然として高い状況にある。教育委員会は、引き続き、在校等時間の把握による勤務時間管理の徹底を図るとともに、部活動の指導を含めた業務の見直しやデジタル技術の活用による業務効率化、外部人材の活用等による教育職員の負担軽減の取組を更に推進し、市町村等教育委員会とも連携して取組を進めていく必要がある。」と学校現場における総実勤務時間の短縮にむけた改善の必要に言及されました。しかし、こうした貴委員会の指摘にもかかわらず、長時間過密の勤務実態はほとんど改善されていません。その上に、深刻な教員不足、相次ぐ代替未配置や時間講師に頼らざるを得ない現状など学校現場の負担は極限に達しています。

4月12日には県教育委員会が、教育実習生や臨時教員に対する深刻なハラスメントへの自らの対応の問題点を認めるまとめを公表しました。県立学校でのアンケート結果にもハラスメントの深刻な実態と相談に行きつかない現状が現れています。相談窓口の改善・充実や相談者に寄り添った対応、ハラスメント認定のしくみなど抜本的な見直しが急務です。

教職員が健康で安心して働くことができ、教育活動に力を注ぐことができるよう、人事委員会が労働基本権制限の代償機関及び労働基準監督機関としての役割を發揮され、下記の事項を勧告・報告されること、また実行されることを要望します。

記

- すべての教職員の月例給・一時金を引き上げ、初任給、若年層の給与を改善するとともに中高年層の給与改善の勧告を行うこと。一時金は国や他県との格差を縮小するためにも国人勧を上回る引き上げ、特に期末手当引き上げの勧告を行うこと。また、高止まりしている燃油料金に伴う通勤手当の改善を図るとともに国人勧で改善された高速道路利用料の全額支給などの勧告を行うこと。
- 配偶者に係る扶養手当を削減・廃止しないこと。
- 「総実勤務時間の短縮」について、職場の実態を正確につかみ、持ち時数制限や教職員増、不要不急業務の削減、授業時数の見直しなどの実効ある施策を講ずるよう、「任命権者」の一層の努力を促すこと。また、産育休・病休代替の未配置の実態を把握し、教育委員会等の人員の活用を含む緊急の対策ならびに抜本的改善を求めるこ。
- 高齢期の雇用については、定年まで働き続けられる職場環境への改善を基本としつつ、多様な形で年金支給開始年齢まで働き続けられる制度となるように改善をすること。また、定年延長により給与を7割に減じる措置を廃止あるいは改善すること。
- 国人勧の制度改善をはじめ母性保護・少子化対策・家庭との両立支援を一層実施・充実すること。
- ハラスメントの予防、被害拡大防止と救済のため公正で透明性のある相談体制、ハラスメント解消のための体制を整備すること。
- 非正規教職員のさらなる賃金改善・待遇改善を行うこと。特に、会計年度任用職員については、制度導入の趣旨と、「同一労働同一賃金」「職務給・均衡・平等取扱い等の諸原則」の観点から、勤務条件全般について点検を行うとともに、改善すべき事項を示すこと。
- 再任用教職員の給与と手当を「同一労働同一賃金」の原則に立ち改善すること。当面、少なくとも定年延長者との均衡をはかり、国人勧で改善された諸手当を支給すること。
- 夏期休暇の取得可能期間を「6月から10月まで」に拡大すること。
- 労働基準監督機能を発揮し、長時間勤務や労働安全衛生の実態をつかむため、人事委員会として学校訪問をすること。

以上